

資料 6

肉用牛生産者の自主的な取組事例について

平成 19 年 10 月 1 日

全国肉牛事業協同組合 松永 直行

肉用牛経営における生産コスト（特に飼料コスト）の低減方策について

1. エコフィードの利用

- (1) 配合飼料の代替飼料として、低廉なエコフィードを利用。松永牧場においては、肥育牛の濃厚飼料総給与量の約 35% を占める。これにより、肥育牛の生産コストを従来より 20% 程度削減。
- (2) 今後、活用すべき食品残さとしては、「麦茶」、「十六茶」、「ワイン粕」、「焼酎粕」を検討中。

2. 国産粗飼料を低廉に確保

- (1) 繁殖牛、肥育牛とも健康に飼育し、美味な牛肉を生産するためには、稲わら、牧草等の粗飼料を十分給与することが不可欠。
- (2) 松永牧場においては、河川敷の野草を粗飼料として利用。必要な粗飼料の約 35% を確保。

国産牛肉が輸入牛肉よりも優れている点について

1. 国産牛肉、特に黒毛和種の牛肉は、輸入牛肉よりも健康に良く、且つ、おいしい。その理由は、脂肪の種類の違い。
2. 不飽和脂肪酸が血中コレステロールを低下させ、かつ、「とろけるような味」、「なめらかな舌ざわり」と表現される味を実現。
3. 三重県科学技術振興センター畜産研究部のデータによると、黒毛和種と輸入牛における不飽和脂肪酸含有割合は 65.1% : 49.4%。